

特集

外科・泌尿器科 ロボット支援下手術

～ダビンチサージカルシステム～



お知らせ

「JAとりで通信」のアンケートにご協力をお願いします

「JAとりで通信」をお読みいただき有難うございます。
より親しまれ、役に立つニュースにするため「JAとりで通信」についてのアンケートを12月から実施しています。別紙のアンケート用紙のお答え頂くか、又は右のQRコードからアンケートを開いていただきお答えいただくようお願い致します。



これまで頂いたアンケートの中にお書き頂いたご質問に一部お答えします。

Q インフルエンザとコロナに感染した場合の症状や療養上の注意点について

厚生労働省のホームページの中に「新型コロナウイルス・季節性インフルエンザの同時流行に備えた対応」について掲載されており、重症化リスクの高い方や重症化リスクの低い方などへのご案内が分かりやすく説明されていますので参考にして頂くようお願い致します。

Q 「JAとりで通信」を当院以外で入手する方法について

「JAとりで通信」は、取手市内の公民館など（寺原公民館、井野公民館、白山公民館、小文間公民館、藤代公民館、中央タウン集会所、桜が丘自治会館、取手市立保健センター）にも配布しております。また、当院のホームページのトップページの下に「JAとりで通信」のタグがありますのでそこから入って頂くとご覧になれます。

看護師の就職説明会

日程 毎月第3土曜日 **時間** AM10:00～11:30(受付AM9:30～)

会場 新棟3階A会議室

申し込み方法 右のQRコードで看護部ホームページを開き、「応募フォーム」からお申し込み下さい。

お問い合わせ 看護部長：猪瀬明美 TEL 0297-74-5551(代)



年末年始の休診について

年末年始は下記の期間一般外来を休診とさせていただきます。なお、救急外来はこの間も24時間診療しております。

2022年12月29日(木)～2023年1月3日(火)

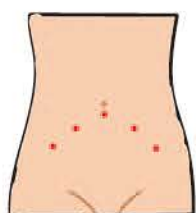
今月の表紙

ロボット手術の術者資格を有する4名です。ロボット手術の術者として特別なトレーニングを受けています。今後も皆で力を合わせ安全なロボット手術を行っていきます。

ロボット支援下手術の利点

傷口が小さく、出血が少ない

ロボット支援下手術では腹部を数カ所小さく切開するだけなので、手術の傷跡はほとんど目立ちません。また精緻な操作が可能のため、開腹手術に比べて出血が少なくなります。



ダビンチ手術の切開部(例)

より安全で正確な切除が可能

コンソールモニターでは拡大視・立体視が可能で、細い血管や神経などが確認できるためより安全で正確な切除が可能です。

健康保険が適用されます

健康保険が適用されますので患者さんの費用負担はこれまでと同じです。ただ疾患によって異なりますので各診療科にお問い合わせください。

実際に手術を受けた患者さんの声

70代 男性 回復が早いロボット手術

今年の5月に直腸がんの手術を受けました。お腹を切るものと思っていたし、ロボット手術のことは知りませんでした。でも円城寺先生の説明が分かりやすかったですし、自分でもスマホで特長などを調べて不安はなくなりました。手術後の痛みはほとんどなかったです。手術の傷跡も小さくて回復が早く、手術から10日位で退院できました。ロボット手術を受けられる条件もあるようですが、傷口が（一般の手術と比べて）全然違うので、回復のことを考えたらロボット手術の方がよいと思います。

70代 男性 ダビンチ手術は最高

昨年の12月に前立腺がんの手術を受けました。ダビンチ手術はテレビの医療番組を見て知っていましたが心配でした。でも妻が手術を勧めてくれ、井上先生が細かなところまで説明してくれたので安心してダビンチ手術を受けました。手術の翌日から廊下を歩き、1週間で退院できました。傷口が痛くなく、つるわけでもなかったのですぐに元の仕事に戻れてうれしかったです。傷跡も小さいしダビンチ手術は最高にいいです。周りの人にも勧めています。

QRコードからアクセスして動画もご覧ください

・外科ロボット手術



・泌尿器科 次世代の手術へ～前立腺がんの全摘出術～



・泌尿器科 次世代の手術へ～骨盤臓器脱に対する新しい手術治療～



外科・泌尿器科ではロボット支援下手術を行っています

内視鏡手術支援ロボット「ダビンチサージカルシステム」

ロボット支援下手術とは

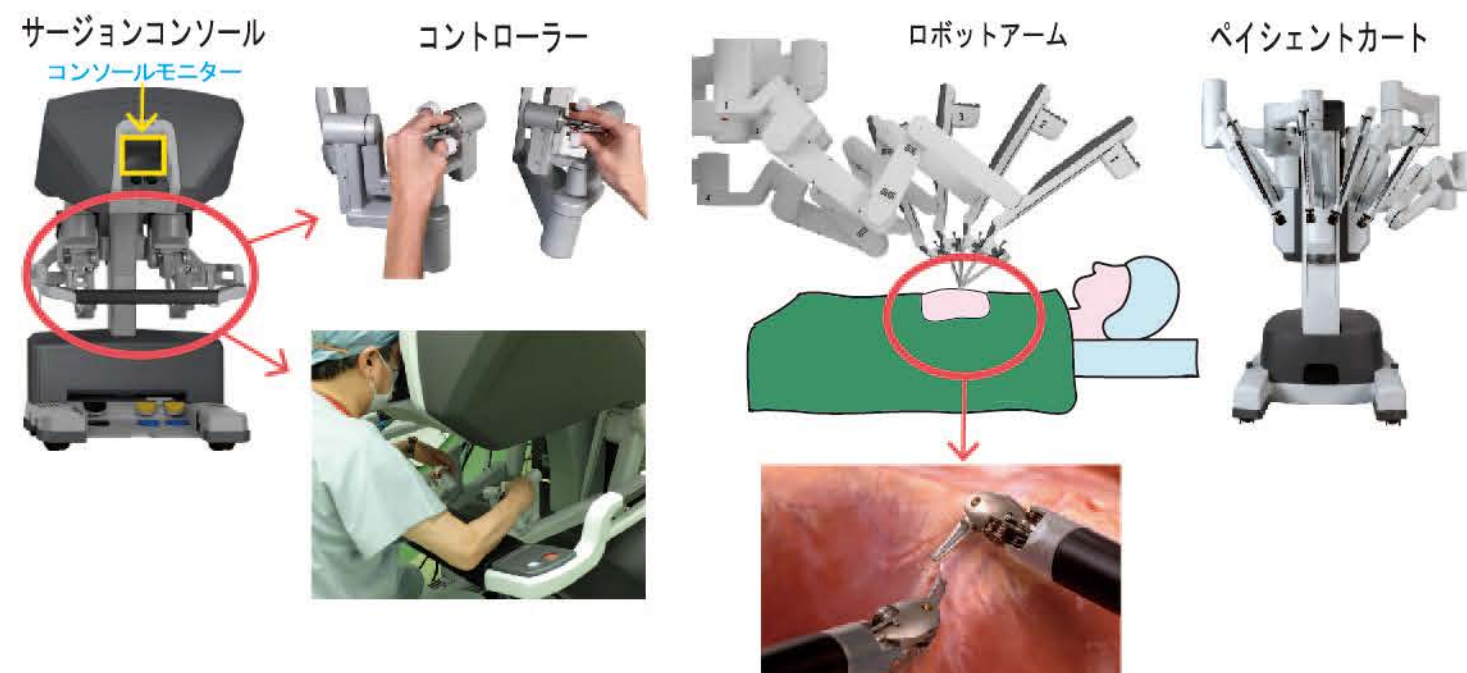
ダビンチ・システム（Intuitive Surgical社製）は、患者さんの負担を少なくしながら複雑な手術を可能にするために開発された内視鏡手術支援ロボットです。腹腔鏡手術と同様に、お腹に数カ所の小さな穴をあけ、そこからロボットアームに接続

された手術器具を挿入します。術者は操作ボックスの中に映し出される内視鏡カメラの3D画像を見ながら手術器具を遠隔操作して手術を行います。

また、手術助手の医師は患者さんの脇で直接、鉗子等を扱い手術を補助します。

医師が手術します。ロボットが自動で手術するわけではありません。

医師が執刀し、微細な動きが可能なロボットアーム（ペイシェントカート）をコントロールして手術を行います。



医師が、サージョンコンソールでお腹の中の拡大された画像を見ながら、手元のコントローラーでメスや鉗子进行操作します。

適用疾患

- ・直腸がん
- ・結腸がん
- ・胃がん
- ・前立腺がん
- ・骨盤臓器脱（子宮脱など）
- ・腎・尿管がん

当院のロボット支援下手術の件数

(2021年12月～2022年11月)

- ・直腸がん：20 件
- ・前立腺がん：36 件
- ・仙骨腫固定：15 件
- ・腎・尿管がん：7 件

おいしい治療食のレシピ

JAとりで総合医療センター 栄養部

脂質異常食



	エネルギー (kcal)	蛋白質 (g)	脂質 (g)	炭水化物 (g)	塩分 (g)
焼き魚(秋刀魚)	225	18.6	18.2	0.2	0
ひじき入り炒り豆腐	112	5.4	7.1	9.8	0.8
サラダ	20	1.0	0.1	4.5	0.3
合計	357	25.0	25.4	14.5	1.1

材料 1人分

焼き魚(秋刀魚)

- ・秋刀魚 1尾(可食部 80g)
- ・調理酒 少々

ひじき入り炒り豆腐

- ・木綿豆腐 60g(約1/6丁)
- ・干しひじき 5g
- ・ねぎ 20g
- ・人参 10g
- ・サラダ油 4g(小さじ1杯)
- ・煮汁 砂糖 2g(小さじ約1杯)
- ・みりん 2g(小さじ約1/2杯)
- ・しょうゆ 4g(小さじ約2/3杯)
- ・だし汁 20cc

サラダ

- ・キャベツ 70g
- ・人参 10g
- ・ノンオイルフレンチドレッシング 10g(大さじ2/3)

作り方

焼き魚(秋刀魚)

- ① 秋刀魚は頭、内臓をとって軽く水洗いをした後、少量の調理酒をふりかけ10分ほどおく。
 - ② 調理酒をふき取った後、魚焼きグリルを用い、弱火で両面を焼く。
 - ③ 焼き上がったら皿に盛り付ける。
- ※今回は塩分を抑える目的で臭み取りに調理酒を用いました。

ひじき入り炒り豆腐

- ① ひじきはさっと洗い、20分ほど水に漬けて戻し、ザルに上げる。
- ② たっぷりの熱湯でさっと茹で、水気を切る。
- ③ 豆腐をキッチンペーパーに包み、重しをのせて約30分おく。
- ④ 水分がぬけたら粗くほぐす。
- ⑤ 人参を千切り、ねぎをみじん切りにする。
- ⑥ 鍋にサラダ油を入れ、ひじきとにんじん、ねぎを中火で約2分程度炒め、豆腐を加えてさっと炒める。
- ⑦ 煮汁の材料を入れ、汁気がなくなるまで強め中火で炒める。
- ⑧ 出来上がった器に盛り付ける。

サラダ

- ① キャベツを短冊切り、人参を千切りにする。
- ② 切った野菜を鍋で茹でる。
- ③ ザルに上げ、さらにキッチンペーパーで水気を切る。
- ④ ノンオイルフレンチドレッシングと和える。
- ⑤ 器に盛り付ける。

診療放射線技師の役割

No.5 放射線治療部門

今回は放射線治療部門について紹介いたします。放射線治療は、手術・化学療法と並ぶ治療のひとつです。高エネルギー放射線を照射してがん細胞を消滅または小さくする治療法です。

1 治療計画

放射線腫瘍医による診察、看護師によるオリエンテーション後に私たち診療放射線技師(以下、技師)が患者さんの適切な体位を決め、CTを撮影します。治療する部位によっては、シエルと呼ばれる固定具を患者さん一人一人に合わせて作成します。撮影したCT画像をもとに、放射線腫瘍医が専用のコンピュータで放射線をあてる最適な範囲や方向などを決定いたします。作成されたプランを技師が治療開始までに、検証及び安全性の確認を行います。

2 放射線の照射

治療は月々金の週5日、毎日行います。寝台の上に寝て頂き、治療計画CTの際につけた皮膚の印に従って治療を行います。レントゲンのような画像を撮影して、ズレが大きい場合には、ミリ単位で補正を行います。場所が決まりましたら、放射線を照射していきます。治療中は、熱さや痛みは感じません。室内モニターで監視していますので、安

心して治療を受けて頂きたいと思っています。治療時間は約10〜15分程度です。

3 品質保証

放射線を毎朝、専用の機器を用いて測定し確認いたします。また、医学物理士という専門資格を有する技師が、月に数回、電離箱という機器等を使用し測定・調整することで、適切な放射線の量を高い精度で患者さんに照射することができます。

(診療放射線技師 梅原 弘行)



私たちが担当します。安心して治療を受けて頂けるように心がけています。

誤嚥性肺炎

※誤嚥：唾液や食べ物が気管に入ってしまうこと

誤嚥性肺炎予防のポイント

- ① お口の環境を整えること(歯磨きの徹底)
- ② 飲み込む力を鍛えること(パタカラ体操など)
- ③ お食事の際の姿勢を整えること

※パタカラ体操

「パ」は唇をしっかりと閉じる。
「タ」は下の先を歯の裏につける。
「カ」は舌の奥に力を入れる。
「ラ」は舌先を少し巻くことを注意してやってみましょう！



体力や飲み込む力が低下した方が、唾液や食べ物などと一緒に、お口の中の細菌を誤嚥してしまうことが原因で発症します。肺炎になると炎症や発熱により、筋力が低下し、日常生活を送ることが大変になることもあります。現在、日本の死因第5位は「肺炎」であり、身近な疾患となっています。



安全に楽しく、しっかりとご飯を食べて、健康な生活を送りましょう！
当院では、早期からリハビリを介入し、体力の維持や入院による筋力低下を予防しています。

当院のリハビリテーション部のInstagramでは、この他にも患者様に有用な情報を発信しております！
こちらのQRコードからアクセス、フォロー宜しくお願いします！





取手市壁画によるまちづくり実行委員会

願いを込めて壁を綺麗に



①



②



③



④

取手市内には現在18点の壁画があり、取手市民会館の外壁には取手市の鳥であるフクロウや花火などが描かれています（写真①）。これらの壁画を製作している「取手市壁画によるまちづくり実行委員会」は、昨年、茨城県がまちづくりのモデルとなるような団体・取り組みを表彰する「チャレンジいばらきまちづくり表彰」の景観・屋外広告物部門において優秀賞を受賞しました。

「取手市壁画によるまちづくり実行委員会」の委員長、葛谷允宏さんは「10年以上前になりますが、利根川近くの線路の高架下に落書きや貼り紙がたくさんあったため、きれいにする方法として壁画を描いたのが始まりです。取手市の政策推進部文化芸術課と東京芸術大学取手キャンパスの学生、市民グループの皆さんでスタートし、現在は東京芸術大学の卒業生が中心になって進めています。取手駅西口の線路の擁壁の壁画デザイン（写真②、④）は多くのアーティストが参加できるように国際コンペも企画しました。取手市民会館の壁画は、『コロナ禍における芸術家支援』の一環から、取手市にゆかりのあるアーティストからデザインを募集しました。デザ

インは選定委員会を設置し、取手市のシンボルアートになるものを選定しました。この取手市民会館の壁画は、今年の真夏の炎天下、ちょうど緊急事態宣言が出されていた頃に取手市の芸術家に協力してもらい、高所作業車も使用しながら2カ月かけて製作しました」と話されました。（製作過程の動画が取手市のホームページにアップされています）

壁画の目的は環境の美化だけではありません。四ツ谷橋（取手駅近く）のすぐ脇の壁画（写真③）は、茨城県立取手第一高等学校から見下ろせる所にあります。高校生に日常の風景を見ていただいただけでは育ちにくい発想力を刺激し、若者が活発に各々の方向に向かっていって欲しいという願いが壁画に込められています。

今後の活動などについて葛谷さんは、「市内の高架下などにはほぼ描いたように思います。今後は街のシンボルになっている建物の外壁に描きたいと思っています」と話されました。東京芸術大学の美術学部絵画科壁画の教育研究助手も務めており、これからも芸術家として取手の街の壁に挑んでいこうとされています。

ミニ情報

葛谷さんが店長の飲食店「コンフリ」が取手駅東口（線路沿いの坂の途中にある白い建物）にあります・・・

連携医のご紹介

医療法人緑生会 あびこクリニック



理事長 橋本 明 院長 森田 一輝

診療科目 産婦人科、内科、小児科、歯科、乳腺外科

診療時間	午前	午後	休診日等
産婦人科	9:00~12:00	15:00~18:00	水曜午後、日曜午後、祝日
内科	9:00~12:00	15:00~18:00	金曜午後、第1・3土曜午後、日曜、祝日
小児科	月~金 9:00~12:00 土曜のみ10:00~12:00	15:00~18:00	日曜、祝日
歯科	月~土 9:00~13:30 日曜 9:30~13:30	（小児歯科9:30から） （一般歯科のみ）	15:00~19:00 15:00~18:00
乳腺外科【完全予約制】	火曜、水曜、木曜、金曜、土曜 9:00~12:00		
乳がん検診【完全予約制】			
メンタルヘルス科【完全予約制】	臨床心理士によるカウンセリングのみ		

連絡先 TEL 04-7184-0321
〒270-1166 千葉県我孫子市我孫子4-3-25

当院は分娩施設ですが、産婦人科以外にも小児科、内科、乳腺外科、歯科と診療科が複数あり、地域の方々のプライマリケアを行えるように努めています。我孫子市に位置していますが、利根川を越えて取手市や守谷市など周辺の地域からも患者さんに来ていただいております。地域に根差したプライマリケアを提供するというクリニックとしての役割を実感してい

ます。

緊急での対応が必要な方や高度な医療を必要とする方は紹介させていただいております。JAとりで総合医療センターの皆様と連携していただくことで地域医療の一端を担うことができ、心より感謝申し上げます。これからも地域の方々を支えられるよう尽くして参りたいと思います。

うちの新人をご紹介します



前列、左 大曾根絢菜 右 唐澤優香
後列、左 村尾彩花 右 大塚桃加

4階東病棟 看護師

4階東病棟の新人看護師をご紹介します。個性豊かな4人は看護学校も同じのため、学生の時からお互いに支え合い、困難を乗り越え仲良く頑張っています。病棟は入退院や検査も多く、業務が多岐に渡りめまぐるしい毎日です。そんな中でも受け持ち患

者さんに対し責任を持ち、笑顔忘れず看護をしています。また、患者さんからの感謝の言葉をいただくことも多く、更なるやりがいにつながっています。この素直で一生懸命な4人の新看護師を、みんなが支え、成長を見守っていきたいと思います。

（新聞 麻理）